

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		議会広報事業				②事業番号		0103	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		昭和 57 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令		要綱		計画等		その他	
⑦実施手法		直営		○ 一部委託		補助・負担		その他	
⑧関連予算科目コード		款 1		項 1		目 1		細目 4	
⑨担当部名		⑩担当課名				会計		一般会計	
議会事務局		議会事務局							

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 人口	人
②	② 世帯数	世帯
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
市議会の活動内容を市民に対し情報発信するため、以下の通り各種の広報事業を実施する。 ・議会だよりを各定例会毎に発行し、市広報への折り込みにて配布する。 ・議会ウェブサイト運営し、市議会情報の発信を行う。 ・YouTubeを利用した本会議ライブ中継の実施、録画映像のアップロードを行う。	① 議会だより発行部数	部
	② 議会だより発行回数	回
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
各種情報発信を行うことにより、市民が議会に関心を持ち、議会の役割や重要性を認識してもらう。	① 議会だより発行部数	部
	② 議会だより発行回数	回
	③ ウェブサイト閲覧件数	件
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
市民に対して議会の内容を様々な手段で公開することにより、議会の取組を理解してもらうことができ、広聴・広報活動の充実につながるとともに、市政の発展に寄与する。	政策(章)	総合計画体系外
	施策大(節)	0
	施策中	0
	施策小	0

〔2〕各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	人口	人	61,984	61,457	60,795	—	—	
対象指標②	世帯数	世帯	26,207	26,308	26,374	—	—	
活動指標①	議会だより発行部数	部	23,500	23,500	23,500	23,500	23,500	
活動指標②	議会だより発行回数	回	4	4	4	4	4	
活動指標③								
成果指標①	議会だより発行部数	部	23,500	23,500	23,500	23,500	23,500	
成果指標②	議会だより発行回数	回	4	4	4	4	4	
成果指標③	ウェブサイト閲覧件数	件	22,228	24,755	57,438	19,992	19,992	
事業費	投入人員	人	0.58	1.03	0.76	0.76		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.35	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	5,850	7,943	5,800	5,800		平成30年度は、出退表示システム整備に伴い、事業費が増となった。
	直接事業費	千円	4,742	4,432	4,492	4,769		
	総事業費	千円	10,592	12,375	10,292	10,569		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		令和2年度からは、議会だよりのアプリ掲載を行い、より見やすい紙面を目指して仕様変更を行った。
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	10,592	12,375	10,292	10,569		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市民への議会活動の周知を図るため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	議会や議員活動の透明性が求められており、本事務事業のさらなる充実が必要になると考える。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

### 3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[1]の評価	A	
評価項目	評価及び理由・説明等							
①サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	議会だよりは入札を実施、またウェブサイトは事務局職員が無料のソフトや動画配信サービスを利用して運営し、より高度な改修等必要な場合に備えた保守業務委託のみ行っているため、コストは適正であるが、専門性や利便性に欠ける面が課題となっている。						

[2]有効性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[2]の評価	B	
②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	市民に対しては議会の内容を知ってもらうことができ、議員、理事者に対しては会議録等の閲覧や、スケジュールの確認等議会の情報収集に活用してもらうことができている。						
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	ウェブサイトの掲載内容や方法については、議会改革の推進、またシステムの随時改良等により、市民への情報公開が質・量ともに充実すれば、成果指標の向上につながる。						
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	議会だよりは現在、市広報に折り込みの形式を採用しているが、市広報との合冊を実施している自治体もあり、メリットデメリットを精査した上で検討することは可能。						

[3]効率性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[3]の評価	B	
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	議会だよりの印刷は入札を行っている。また議会だより及びウェブサイトの最低限必要な編集についても事務局職員による作業のため、人件費については必要最小限で作業を行っており、これ以上の削減は難しい。						

### 4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	更新頻度やスピードが要求されるウェブサイトにおいては、限られた人員の中で、迅速な作業を継続して実施していけるかが課題である。	

### 5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>	
ア	<p>ア. 現状のまま継続      イ. 見直しのうえで継続      ウ. 終了      エ. 休止      オ. 廃止</p> <p style="text-align: right;">( ___ 年まで)      ( ___ 年から)      ( ___ 年から)</p>
<今後の展開方針>	
	<p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)      b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)      d. 簡素化する(規模を縮小する)      e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—